

リース業における低炭素社会実行計画

平成 25 年 11 月 20 日
公益社団法人リース事業協会

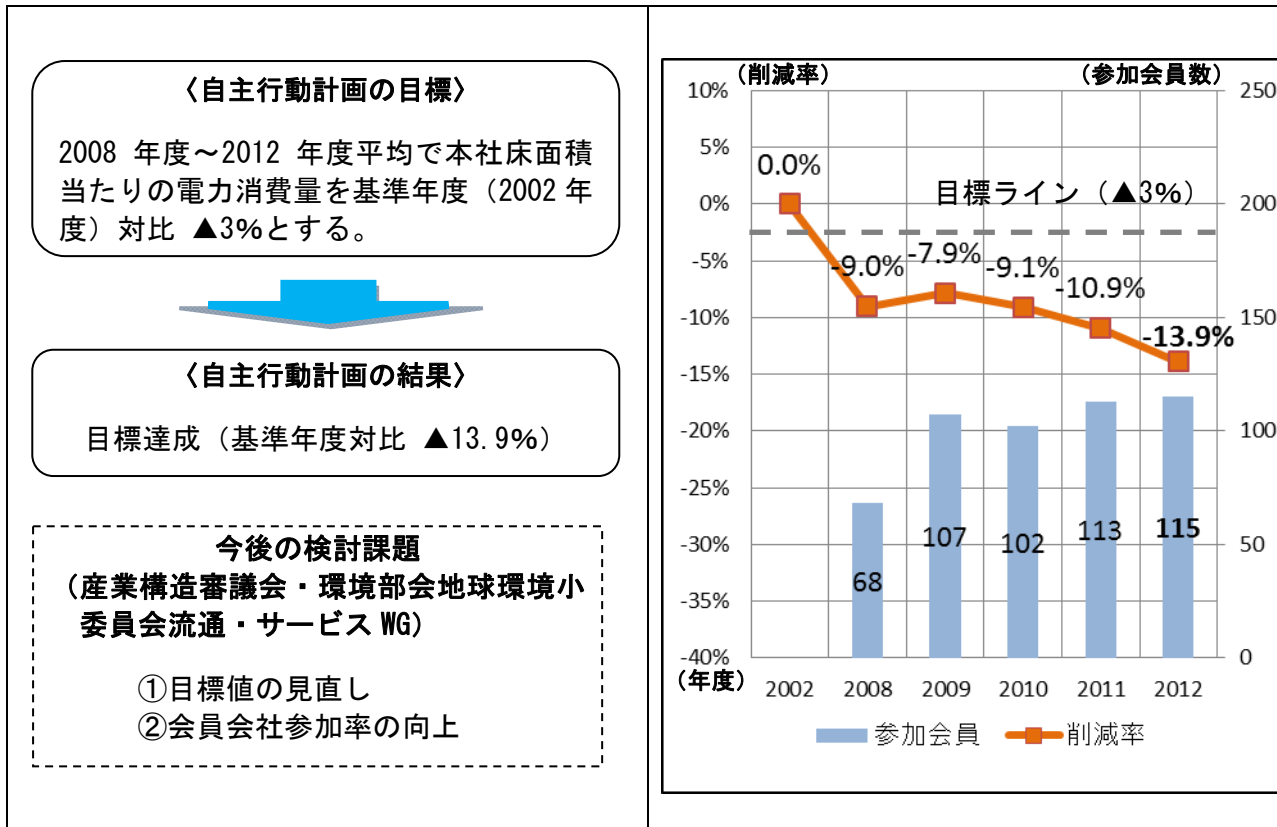
- 当協会は、2007 年に地球温暖化対策自主行動計画（2008 年度～2012 年度）を策定、経済界の一員として温室効果ガス削減に努め、計画目標を達成した。
- 2020 年度を目標年度とする低炭素社会実行計画（※）を策定し、引き続き、リース業界として温室効果ガス削減に努めることとする。

（※）2020 年度において、本社床面積当たりの電力消費量を基準年度（2009 年度）対比で 10%削減

1. 地球温暖化自主行動計画（2008 年度～2012 年度）

- ✓ 当協会は、地球温暖化の影響が社会及び経済活動の持続的な発展を阻害する問題であると認識し、経済界の一員として温室効果ガスの排出削減に努めるため、リース業界における地球温暖化対策自主行動計画を策定した（2007 年）。
- ✓ 自主行動計画の最終年度（2012 年度）において、自主行動計画参加会員会社（115 社：参加率 46.2%）の実績値は目標値を大きく上回る減少を示し目標を達成した（2008 年度～2012 年度平均で基準年度対比 13.9%減）。

〈自主行動計画の目標と実績〉



2. 低炭素社会実行計画（2013 年度～2020 年度）

（1）背景

- ✓ 国際社会においては 2050 年に温室効果ガスの排出量を半減させることを目標としている。
- ✓ 経団連は、国内で最大限の温室効果ガスの排出削減を継続することとしており、自主行動計画に続く計画として、2020 年度を目標とする「低炭素社会実行計画」（2009 年）を策定し、地球温暖化防止に向けた主体的かつ積極的な取組みを一層強化することとしている。
- ✓ 政府は、経済界が自主的に作成する「低炭素社会実行計画」について、自主行動計画と同様に、関係審議会による定期的な評価・検証を行うこととしている。

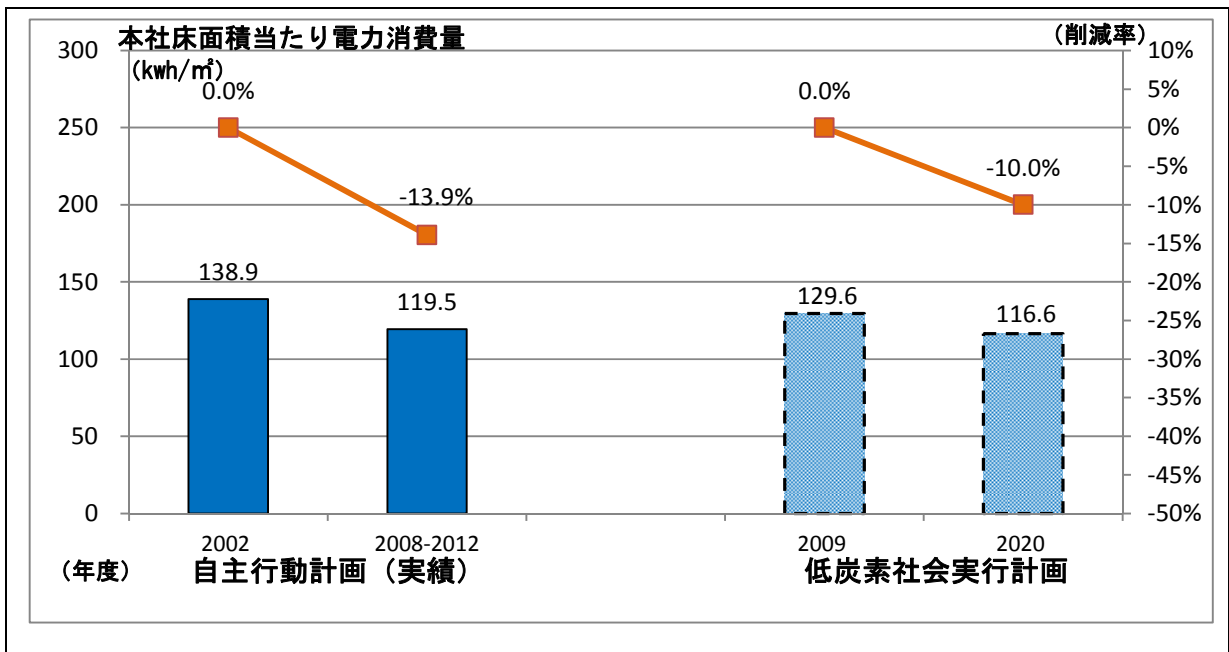
（2）リース業における低炭素社会実行計画

- ✓ 当協会は、経済界の一員として、引き続き、地球温暖化防止に向けた活動を行うこととし、2020 年度を目標年度とする低炭素社会実行計画を策定し、温室効果ガスの排出削減に努めることとする。
- ✓ 当協会の低炭素社会実行計画は、産業構造審議会 WG から指摘された課題を踏まえつつ、会員会社の状況、他業界の状況等を総合的に勘案して、次の目標を掲げることとする。

〈リース業における低炭素社会実行計画〉

■ 2020 年度において、本社床面積当たりの電力消費量を基準年度（2009 年度）対比で 10% 削減する。

〈参考：自主行動計画と低炭素社会実行計画の比較〉



以上